

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 貞岡川 砂防事業に伴う測量設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	BotNo. R2-B5-4		調査位置	広島県東広島市志和町別府 地内		北緯	34° 28' 30.6598"							
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所			調査期間	令和2年12月 3日～ 令和2年12月 7日		東経	132° 37' 38.5657"						
調査業者名			主任技師			現場代理人			ボーリング責任者					
孔口標高	T P 289.68m		角			方			地盤勾配			使用試験錐機	東邦地下工機 D0-C型	
総削孔長	4.00m		度	0°		向	180° 南		エンジン	ヤンマー NF-110EK型		ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型	

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試験採取			室内試験	削孔月日							
											深度－N値図							N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数			50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試験番号	採取方法		
											0	100	200	打撃ごとの貫入量															
(m)	(m)	(m)							事		0 10 20 30 40 50 60																		
1	288.78	0.90		砂混り砂質土		暗褐	rd2		深床堆積物 ・最上位は腐植混じる暗褐の腐葉土 ・礫はφ10-40mm程度以下、砂は細-粗粒砂 ・下位基岩層との漸移部では玉石点在 白亜紀後期黒雲母花崗岩 (GM) ・岩質やや堅硬、緩傾斜の節理が発達 ・採取試料は岩片-短柱状、コア肌粗面で節理間は黄灰色の流入土砂が挟在 ・GL-1.70m付近より全量透水 白亜紀後期黒雲母花崗岩 (GM) ・岩相比較的均質な細粒黒雲母花崗岩 ・岩質は比較的新鮮かつ堅硬コア肌滑らか ・採取試料はコア長L=30cm以下の短柱状であり、ハンマーの打撃で金属音を発する	12/10 2.39		50以上	1.00	貫入不能	50.0														
2	287.88	1.80		花崗岩		淡褐																							
3				花崗岩		淡褐																							
4	285.68	4.00																											
5									・緩傾斜の節理が発達、一部で開口し場所的に節理面は暗褐色に変色 ・GL-3.20m付近、GL-3.60-3.70m間、緩傾斜の節理で脆弱化し礫-岩片状を呈す																				
6																													
7																													
8																													
9																													